

鉄道旅客運賃の上限変更認可申請について

～小児普通旅客運賃(IC)・通学定期は据え置き又は値下げへ～

首都圏新都市鉄道株式会社(代表取締役社長:渡邊 良、本社:東京都千代田区、以下「当社」)は、つくばエクスプレス(TX)線の運賃改定の実施(2026 年 3 月予定)に向けて、本日、国土交通大臣宛に鉄道旅客運賃の上限変更認可申請を行いました。

当社は、開業以来、安全・安定・安心輸送の確保を最優先とし、地域に密着した鉄道として、お客様サービスの向上に取り組んでまいりました。開業からまもなく 20 年を迎え、経年劣化した車両や鉄道施設、混雑への対応等が急務となっています。このため、車両や鉄道施設の大規模更新や車両の長編成化等を実施し、将来にわたって安全・安定・安心輸送の維持・向上を図っていく必要があります。

今回の申請は、昨今の物価高騰等に対応しつつ、安全・安定・安心輸送の確保に必要な設備投資等を着実に実施し、今後とも持続可能な経営を行うため、不足する費用の一部についてお客様にご負担をお願いするものであり、開業以来初(消費税率変更によるものを除く)の申請となります。また、日本全体で少子化が進行するなか、子育て世代が沿線に定着することは、当社や沿線の発展にとって重要であるため、運賃改定に際しては、小児普通旅客運賃(IC)や通学定期は据え置き又は値下げとし、子育て世代に配慮した運賃とします。

主な申請内容は以下のとおりです。

<主な申請内容> (※一部届出の内容を含む)

○改定率・増収率 12.2% (定期外 8.2%・通勤定期 20.2%・通学定期△15.3%)

○券種別申請内容(詳細は別紙参照)

券種		現行	申請
普通券	大人	IC: 初乗 168 円/最長 1,205 円 きっぷ: 初乗 170 円/最長 1,210 円	IC: 初乗 180 円/最長 1,280 円 きっぷ: 初乗 180 円/最長 1,280 円
	小児	IC: 大人の半額 きっぷ: 大人の半額	IC: <u>13 キロまで据え置き、14 キロ以降 200 円均一</u> きっぷ: 大人の半額
定期券	通勤	平均割引率: 40.6%	平均割引率: 37.4%
	通学	平均割引率: 60.4%	平均割引率: <u>70.0%</u> (これに加えて、 <u>小児は 19 キロ以降 5,000 円均一</u>)

今後とも、安心と信頼の鉄道輸送を堅持し、沿線地域をつなぐ鉄道として、地域とともに沿線価値のさらなる向上に努めてまいりますので、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

申請に関する詳細は別紙のとおりです。

1. 申請理由

当社は、秋葉原～つくば間(58.3km)を結ぶつくばエクスプレス(TX)線において、沿線に密着した鉄道としての社会的使命を果たすべく、安全・安定・安心輸送の確保を最優先とし、お客様や沿線住民の皆様のライフスタイルをサポートするサービスや高架下等を活用した地域貢献に取り組んでまいりました。TX 線の輸送人員は、2005 年 8 月の開業以後、順調に増加し、2019 年度には約 1 億 4,310 万人(2006 年度比約 202%)に達しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により 2020 年度は約 1 億 45 万人まで落ち込みました。その後回復傾向にあり、2023 年度は約 1 億 3,868 万人(2019 年度比約 97%)でした。

当社では、開業以降、車両や鉄道施設等の保守管理に加え、輸送人員の増加に適切に対応すべく、車両の増備(6 両編成車両 30 本⇒42 本(現在は 41 本))、秋葉原駅の出入口増設、入出庫線の複線化等、混雑対策をはじめとする安全・安定・安心輸送や充実したサービスの提供に必要な設備投資を順次実施してきました。

まもなく開業から 20 年を迎え、最高時速 130 キロでの運転を支えてきた車両や架線、軌道等の鉄道施設の大規模更新、混雑対策のための車両の長編成化(6 両編成から 8 両編成へ)の実施、総合基地の増強等が急務となっています。

これに加えて、TX 線の建設主体である(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構に対する債務残高は、2023 年度末時点で約 4,357 億円であり、今後も約 20 年間、毎年約 200 億円の償還を行っていく必要があります。

昨今の物価高騰等に対応しつつ、上記の対応を着実に実施し、将来にわたって安全・安定・安心輸送の維持・向上を図り、持続可能な経営を行うため、開業以来初(消費税率変更によるものを除く)となる運賃改定を申請しました。

2. 運賃改定の内容

(1) 申請日及び改定予定日

申 請 日:2025 年 4 月 11 日

改 定 日:2026 年 3 月(予定)

(2) 申請・現行運賃の比較

○ 改定のポイント

- ・普通旅客運賃(大人・IC)は、初乗運賃を 168 円から 180 円へ、最長キロ程の運賃を 1,205 円から 1,280 円へ値上げ
- ・普通旅客運賃(小児・IC)は、子育て世代の負担軽減及び長距離の利用促進等に繋げるため、13 キロまで据え置き及び 14 キロ以降は 200 円均一に値下げ
- ・通勤定期旅客運賃は、定期券平均割引率の引下げ(40.6%→37.4%)により値上げ
- ・通学定期旅客運賃は、子育て世代の負担軽減のため、定期券平均割引率の引上げ(60.4%→70.0%)により値下げ、さらに小児の通学定期旅客運賃は、これに加えて 19 キロ以降は 5,000 円均一に値下げ

① 普通旅客運賃

※小児 10 円単位運賃は、現行・申請共に大人 10 円単位運賃を折半し端数計算した額となります。

※赤字部分は据え置き・値下げ。

(単位:キロ、円)

キロ程	大人				小児			
	1 円単位運賃 (IC)		10 円単位運賃 (きっぷ)		1 円単位運賃 (IC)		10 円単位運賃 (きっぷ)	
	現行	申請	現行	申請	現行	申請	現行	申請
1～3	168	180	170	180	84	84	90	90
4～5	210	230	210	230	105	105	110	120
6～7	251	271	260	280	125	125	130	140
8～9	293	320	300	320	146	146	150	160
10～11	335	362	340	370	167	167	170	190
12～13	377	412	380	420	188	188	190	210
14～15	419	454	420	460	209	200	210	230
16～18	471	513	480	520	235	200	240	260
19～21	524	574	530	580	262	200	270	290
22～24	576	626	580	630	288	200	290	320
25～27	629	688	630	690	314	200	320	350
28～30	682	741	690	750	341	200	350	380
31～33	733	800	740	800	366	200	370	400
34～36	786	853	790	860	393	200	400	430
37～39	838	913	840	920	419	200	420	460
40～42	891	966	900	970	445	200	450	490
43～45	943	1,018	950	1,020	471	200	480	510
46～48	995	1,070	1,000	1,070	497	200	500	540
49～51	1,048	1,123	1,050	1,130	524	200	530	570
52～54	1,100	1,175	1,100	1,180	550	200	550	590
55～57	1,152	1,227	1,160	1,230	576	200	580	620
58～59	1,205	1,280	1,210	1,280	602	200	610	640

② 通勤定期旅客運賃(大人1か月)

(単位:キロ、円)

キロ程	大人	
	現行	申請
1～3	6,020	6,810
4～5	7,530	8,700
6～7	9,030	10,590
8～9	10,540	12,100
10～11	12,050	13,990
12～13	13,560	15,880
14～15	15,070	17,390
16～18	16,950	19,660
19～21	18,830	21,940
22～24	20,710	23,820
25～27	22,600	26,090
28～30	24,480	27,970
31～33	26,360	30,240
34～36	28,250	32,450
37～39	30,120	34,320
40～42	32,010	36,210
43～45	33,890	38,090
46～48	35,780	39,980
49～51	37,660	41,860
52～54	39,540	43,740
55～57	41,420	45,620
58～59	43,300	47,500

※ 通勤定期旅客運賃(小児1か月)は、現行・申請共に、上記運賃を折半し、端数計算した額となります。

③ 通学定期旅客運賃(1か月)

※赤字部分は値下げ。

(単位:キロ、円)

キロ程	大人		小児	
	現行	申請	現行	申請
1～3	4,010	3,240	2,010	1,620
4～5	5,020	4,140	2,510	2,070
6～7	6,020	5,040	3,010	2,520
8～9	7,030	5,760	3,520	2,880
10～11	8,040	6,660	4,020	3,330
12～13	9,030	7,560	4,520	3,780
14～15	10,030	8,280	5,020	4,140
16～18	11,300	9,360	5,650	4,680
19～21	12,550	10,440	6,280	5,000
22～24	13,800	11,340	6,900	5,000
25～27	15,060	12,420	7,530	5,000
28～30	16,320	13,500	8,160	5,000
31～33	17,570	14,400	8,790	5,000
34～36	18,830	15,480	9,420	5,000
37～39	20,090	16,560	10,050	5,000
40～42	21,340	17,460	10,670	5,000
43～45	22,600	18,360	11,300	5,000
46～48	23,850	19,260	11,930	5,000
49～51	25,100	20,340	12,550	5,000
52～54	26,350	21,240	13,180	5,000
55～57	27,610	22,140	13,810	5,000
58～59	28,870	23,040	14,440	5,000

(3) 定期運賃平均割引率

通勤定期		通学定期	
現行	申請	現行	申請
40.6%	37.4%	60.4%	70.0%

(4) 3 か月定期及び 6 か月定期の割引率

通勤定期及び通学定期について、それぞれ 3 か月定期及び 6 か月定期の割引率を、3 か月定期は 5%から 2%に、6 か月定期は 10%から 4%に、引き下げます。なお、これらの割引率の変更を加味しても、通学定期については大人・小児共に全区間において値下げとなります。

(5) 改定率・増収率

種 別		改定率・増収率
定 期 外		8.2%
定 期	通 勤	20.2%
	通 学	△15.3%
	計	16.6%
合 計		12.2%

3. 収支実績および推定

(単位:百万円)

項目	2023 年度	2026～2028 年度 (3 年間平均)	
	実績	現行	申請
収入	45,331	49,434	55,207
支出	69,393	72,787	72,787
差引損益	△24,062	△23,352	△17,580
収支率	65.3%	67.9%	75.8%

※将来推定は申請上の計算方式に基づいて算出しています。

※端数処理のため、各項目の計と差引損益が一致しない場合があります。

4. 運賃収入の内訳

(単位:百万円)

項目	2023 年度	2026～2028 年度 (3 年間平均)	
	実績	現行	申請
定期外	22,974	25,159	27,218
定期	20,408	22,327	26,040
合計	43,383	47,487	53,259

※将来推定は申請上の計算方式に基づいて算出しています。

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合があります。

5. 輸送人員の推移と今後の見通し

(単位:千人)

実績	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
定期外	46,483	29,532	37,085	46,552	52,510
定期	96,622	70,915	73,524	79,827	86,170
合計	143,106	100,447	110,610	126,380	138,680
前年比	102.4%	70.2%	110.1%	114.3%	109.7%

将来推定	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
定期外	55,681	56,646	57,317	58,148	58,660
定期	90,608	92,178	93,270	94,363	95,456
合計	146,290	148,824	150,588	152,511	154,117
前年比	105.5%	101.7%	101.2%	101.3%	101.1%

※将来推定は申請上の計算方式に基づいて算出しています。

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合があります。

6. 設備投資の実績と今後の計画

(1) 設備投資の実績と今後の計画

(単位:百万円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
	実績	実績	実績	計画	計画	計画	計画	計画
安全対策	2,442	1,673	1,335	1,080	3,520	3,957	4,130	9,351
サービス改善	1,006	118	521	1,270	3,920	4,576	4,777	4,854
その他	245	380	974	86	679	2,901	1,546	2,210
合計	3,693	2,170	2,830	2,438	8,120	11,435	10,455	16,416

※端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合があります。

(2) 内容

- ① 安全対策(2026～2028 年度 投資額計:約 174 億円)
 - ・車両及び関係機器類の更新
 - ・開業時期に導入した鉄道施設等の更新(変電所、ホームドア、ITV 設備、信号設備等)
- ② サービス改善(2026～2028 年度 投資額計:約 142 億円)
 - ・混雑緩和対策(8 両編成化事業、総合基地整備事業)
 - ・QR 乗車券システム及びタッチ決済システムの導入
- ③ その他(2026～2028 年度 投資額計:約 66 億円)
 - ・社員の就業環境改善のための工事
 - ・所有建物、設備の改修工事

7. 経営合理化の実施状況と今後の取組み

当社では開業から省メンテナンス・省人化に資するシステムや施設・設備等を使用し、安全性と生産性を両立した事業運営に努めてきました。今後も安全・安定・安心輸送を前提に、引き続き安定的かつ効率的な事業運営に努めてまいります。

(1)これまでの取組み

安全性と生産性の両立を図るためのATO(自動列車運転装置)によるワンマン運転の導入や弾性マクラギ直結軌道の採用により省メンテナンス・省人化を進めてきました。また、列車から発生する回生電力の有効利用やATO運転の惰行制御による省エネ運転の導入等、効率的なエネルギーの使用を図ってまいりました。

(2)コロナ禍における取組み

コロナ禍においては、お客様の利用動向に応じた列車ダイヤの見直しや駅設備の稼働台数の抑制等の運用面での見直し及び設備投資や各種修繕の実施方法や実施時期の精査による見直しを図り、経費の抑制に努めてきました。

(3)今後の取組み

デジタル技術の活用による更なる生産性の向上や省エネに努める等、引き続き安定的かつ効率的な鉄道事業の運営に努めてまいります。

8. 運賃・料金の多様化の内容(主な企画乗車券等)

当社では、お客様の利便性・サービス向上を目的とした様々な企画乗車券を発売しています。また、今後は紙媒体だけでなく、デジタルチケットの導入など、お客様が更に利用しやすい商品を検討してまいります。

①筑波山あるキップ

筑波山登山や筑波山麓の散歩に便利でお得な企画乗車券です。TX線・関東鉄道バス・つくバス(北部シャトル)に1枚の乗車券で乗車できます。

②筑波山きっぷ

筑波山の大自然を気軽に楽しめる企画乗車券です。TX線・関東鉄道バス・つくバス(北部シャトル)・ケーブルカー・ロープウェイに1枚の乗車券で乗車できます。

③TX 東京メトロパス

TX線の往復割引乗車券と東京メトロの一日乗車券がセットになった企画乗車券です。都心へのビジネス、レジャー、ショッピング等に便利でお得です。乗車券の提示により、都内の多くの文化・商業施設などで割引等の特典を受けることができます。

④TOKYO 探索きっぷ

TX線の各駅から新御徒町駅までの往復割引乗車券と東京都交通局全線(都営地下鉄、都電、都バス、日暮里・舎人ライナー)の一日乗車券がセットになった企画乗車券です。都内の名所・旧跡等へのアクセスに便利でお得です。企画乗車券の提示により、都内の多くの文化・商業施設などで割引等の特典を受けることができます。

⑤TX&常総ライン往復きっぷ

TX線と関東鉄道常総線をつなぐ往復乗車券です。TX線の秋葉原駅・新御徒町駅・北千住駅の各駅と関東鉄道常総線の下館駅・下妻駅・石下駅の各駅相互間を往復利用できます。

9. お客様サービスの向上策

(1)混雑緩和対策の実施

抜本的な混雑緩和対策である8両編成化事業やそれに伴う総合基地整備事業の推進を引き続き実施します。

(2) お客様の利便性・快適性の拡充

QR 乗車券システム及びクレジットカード等によるタッチ決済システムの導入や、TX アプリの導入、駅における情報提供・情報発信の充実・強化に取り組めます。

(3) 駅構内事業の充実

コンビニエンスストアの新規設置や駅構内催事の強化、当社の駅構内・駅高架下の複合商業施設である TX アベニューの新規開発の検討を実施します。

以 上